

摂津市まちづくり市民会議

摂津市内めぐりバスツアー



摂津市マスコットキャラクター

セッピー

平成21年5月24日

摂津市内めぐりバスツアー

開催日 平成21年5月24日(日)
 集合場所 摂津市役所 玄関前 8時45分 **★9時00分出発**
 昼食場所 摂津市役所 1階 食堂
 解散場所 摂津市役所 玄関前 16時30分

<ツアーコース>

午 前		午 後	
出発時間 9:00	摂津市役所(9:00出発) ↓ 15分	出発時間 13:15	摂津市役所(13:15出発) ↓ 3分
到着時間 9:15 出発時間 9:45	烏飼八町(田園風景見学) ① ↓ 5分	到着時間 13:18 出発時間 13:45	南千里丘新駅予定地(徒歩見学) ⑥ ガランド親水水路遊歩道(徒歩見学) ⑦ ↓ 20分
到着時間 9:50 出発時間 10:20	大阪銘木市場(施設見学) ② ↓ 5分	到着時間 14:05 出発時間 14:25	市場池オアシス広場(施設見学及びトイレ休憩) ⑧ ↓ 15分
到着時間 10:25 出発時間 10:55	淀川河川公園(施設見学及びトイレ休憩) (烏飼サービスセンター) ③ ↓ 15分	到着時間 14:40 出発時間 15:05	吹田操車場跡地(車窓から) ⑨ 大阪人間科学大学 ↓ 徒歩移動 ↓
到着時間 11:10 出発時間 11:30	第6集会所(施設見学) (一津屋公会堂) ④ ↓ 10分	出発時間 16:00	正雀商店街(駅前周辺徒歩見学) ⑩ ↓ 3分
到着時間 11:40 出発時間 12:10	新幹線公園(施設見学) ⑤ ↓ 5分	到着時間 16:03 出発時間 16:25	安威川公民館(施設見学) ⑪ ↓ 2分 正雀ちびっこ交通公園(車窓から) ↓ 3分
摂津市役所(12:15到着)		摂津市役所(16:30到着)	

①鳥飼八町（田園風景）

鳥飼八町



本市においては、市街化の進行と共に農家数が減少しています。

耕地面積のうち95.3%が水田であり、その他では畑が3.4%を占め都市近郊農家の優位性を生かしたビニールハウス栽培による高級野菜等の生産が行われています。

【 農家数、農家人口の推移 】

（各年2月1日）

資料：世界農林業センサス

年	農家数（戸）				農家人口（人）		
	総数	専業	第1種兼業	第2種兼業	総数	男	女
昭和 60年	556	24	13	519	2,734	1,357	1,377
平成 2年	376	9	7	360	1,867	931	936
平成 7年	286	4	5	277	1,360	667	693
平成 12年	233	3	4	226	1,079	529	550
平成 17年	72	10	7	55	220	127	93

注：昭和60年は経営耕地面積が5アール以上の農家対象

平成2年～平成12年は10アール以上の農家対象

平成17年より30アール以上の農家対象

②大阪銘木市場

鳥飼銘木町



全国各地より原木から製品までの各種銘木を一堂に集荷展示し、組合員及び取引契約者を対象に市売りにて販売する銘木専門市場です。

③淀川河川公園（鳥飼サービスセンター）

鳥飼下1-8-1

淀川河川公園は淀川の広大で自然豊かな環境を舞台に、昭和47年に事業化した日本最初の国営の河川公園です。昭和48年から順次開園し、現在では大阪城公園の約2倍の広さです。淀川河川公園には野球場、テニスコート、陸上トラック等の運動施設も整備されており、多くの人々に利用されています。



④一津屋公会堂（市立第6集会所）

一津屋2-18-13

設計者：大西 多治郎 氏

施工者：河井 忠助 氏



この建物は大正2年に地元の農家が出資して建築されました。その後、市は昭和43年に建物のみ寄贈を受けました。

建物は木造2階(地下室あり)で、黒御簾^{くろみす}①を有する舞台と棧敷^{さじき}②が設備されています。

現在は市立の集会所として年間40件程度、利用されています。管理業務については、集会所運営委員会で行われています。

- ① 御簾(みす)とは、神前・宮殿などにかける簾(すだれ)のこと。見物客から見えなように黒い御簾をかけたところから、歌舞伎の下座(げざ)の別名。下座(げざ)とは、歌舞伎で、囃子方(はやしかた)が観客に姿を見せずに演奏する場所。舞台の下手(しもて)にあり、舞台との境の窓に黒御簾を下げて客席からの視線をさえぎります。
- ② 棧敷(さじき)とは、劇場で、平土間に対して左右に一段設けた席のこと。

⑤新幹線公園

安威川南町

新幹線公園は安威川と JR 貨物ターミナルとの間の安威川堤防上にあり、初代0系新幹線車両と EF15型電気機関車が展示されています。



初代0系は昭和43年に作られ、東海道、山陽を5321千km走った新幹線です。この新幹線車両は、日本に残る歴史的な機械技術を保存し、文化的遺産として次世代に継承していくものとして機械遺産に認定されました。ここでは、毎月第2、4日曜日の午前10時から12時までと午後2時から4時まで、無料で車両の中に入ることができます。EF15-120号機は昭和29年に作られ、2336千kmを走りました。

また、中央環状線と新幹線公園の間の約400mは桜の木が144本植わっており、桜のシーズンともなると、きれいな桜のトンネルとなり、多くの人でにぎわいます。

⑥南千里丘新駅予定地

南千里丘及び香露園の一部

南千里丘まちづくり構想の概要

- 摂津市南千里丘と香露園の一部において、約6.8haのまちづくりを行います。
- 同地区に阪急電鉄京都線の新駅を設置します。
- 同地区のまちづくりには、「ふれあい広場」、「旧総合福祉会館」などの市有地と同地区にある民間企業用地を使用します。
- 事業手法は土地区画整理事業による整備を予定しています。
- 「健康・福祉」「文化・教育」を、基本コンセプトとしたまちづくりを行います。
- 同地区における、旧総合福祉会館の機能や保健センター、男女共同参画センター、シルバー人材センターなど、公共施設の再配置を行います。
- 公共施設のほか、商業業務施設、住宅などを4つのゾーンに分け、まちづくりを行います。
- まちびらきは2010年(平成22年)春頃を予定しています。

新駅について

- 新駅の名称 「摂津市」駅
日本初のカーボン・ニュートラル・ステーションとなります。
- カーボン・ニュートラル・ステーションへの取り組みについて
 - ・ 太陽光発電や各種省エネルギー設備導入等により、新駅に起因するCO₂排出量を約54%削減します。
 - ・ さらに、直接的に削減困難なCO₂(対象排出量の約46%)についても排出枠購入等の方法により相殺し、新駅に起因するCO₂排出量をゼロにします。



⑦ ガランド親水水路

香露園16番～34番地先

ガランド水路親水施設は、水循環再生下水道モデル事業として平成7年12月から平成11年3月にかけて整備したものです。利水や治水の役割を終えたガランド水路に、下水処理水を流すことで、かつての「せせらぎ」を復活させるとともに、植栽や遊歩道、四阿(あずまや)などを設置しました。



地域住民の自主的な清掃活動組織である「ガランド遊歩道美化会」も発足するなど、ガランド水路は水と親しめる憩いの空間として、また、地域住民の交流を深める空間として新たな役割を担っています。

「ガランド」の名称は、その昔、この水路の上流にあったお寺の伽藍に由来し、漢字で書けば「伽藍堂」となります。

⑧ 市場池オアシス広場

千里丘6丁11街区

市場池はため池として長い歴史の中で地域の人々の暮らしを守り、豊かな自然環境を育み大きな役割を果たしてきた、摂津市内に残された唯一の「ため池」です。



この歴史的遺産である市場池を農業施設や消防水利として生かしつつ、都市生活に”やすらぎ”と”うるおい”を与え、都市・農業・自然が共生し、魅力ある水とみどりのオアシスとして総合的に整備するため、大阪府・味舌上財産区・実行組合などと協力し、市場池オアシス事業(ため池環境整備事業)として行ったものです。

⑨ 吹田操車場跡地

千里丘4丁目・7丁目

鉄道の国有化以降、増加した鉄道貨物輸送。それまで各駅で行っていた入換え作業は限界が近づき、何より非効率でした。中でも東海道本線は日本の大動脈であり多数の貨物列車が走行していました。こうして、1923年、大阪を通る貨物を捌く吹田操車場が開業したのです。線路の総延長約150キロ、最大貨車取扱量6000両は、いずれも国内の操車場で最大級。しかし、1970年以降は自動車の大衆化が進み、さらに貨物輸送の合理化によって途中入換え作業のないコンテナ専用列車が登場。全国の操車場で業務が減少しました。ついに1984年2月のダイヤ改正で操車場経由式の輸送が全廃。他の操車場と同じく、吹田操車場もその歴史に幕を下ろしました。

⑩正雀商店街

正雀駅周辺

正雀駅前には、正雀駅前商店街と正雀本町商店街があります。
昨年11月には大阪人間科学大学で「全国まちづくりカレッジ2008in摂津」が開催され、フィールドワークの“まちなかミュージアム”では実際に正雀のまちを散策しました。



「コミュニティ・スペース (CS2)」

大阪人間科学大学は、平成18年10月から「個性的な地域を創生する人材育成プログラム」をはじめました。大学を摂津市の「環境とアートのまちづくり拠点」と位置付け、正雀駅前商店街の中に“コミュニティ・スペース(CS2)”を設置しました。このコミュニティ・スペース(CS2)は、大阪人間科学大学と摂津市の地域の方々の交流拠点となっています。(出展:全国まちづくりカレッジ2008in摂津)

「消防団車庫」

摂津市消防団正雀分団屯所の壁面にはかわいい絵が描かれています。

作業は地域の方や味舌小学校の子ども達、大阪人間科学大学、大阪薫英女子短大の学生が力を合わせて行われました。壁の絵のデザインは、コンペで選ばれた大阪人間科学大学生の作品と子ども達の作品を合わせたものです。



(出展:全国まちづくりカレッジ2008in摂津)

「NPO 法人キッズぽてと」

一時保育や子育て支援講座の企画・運営など、地域に根ざした子育て支援活動を行っています。

「摂津市市民活動支援センター(せつつ NPO センター)」

⑪安威川公民館

正雀4-9-28

地域コミュニティの拠点として、日常生活に関する教育、学術、文化について各種の事業を行っています。

クラブ活動定期講座の修了者及び同好者によって、子どもからお年寄りまでの方々が子育て、芸術、演劇、ダンス、コーラスなど広い分野で楽しく自主的に活動しています。



☆☆☆もしかしたら「摂津市」じゃなかったかも…☆☆☆

三島町から摂津市へ変わる際、市名を公募したのをご存知ですか？

新市名公募には、全国から1233通 254種の応募案が寄せられたようです。

〔新市名応募上位15種〕

順位	市名	応募数
1	千里丘市	144
2	摂津市	130
3	淀川市	108
4	摂津三島市	99
5	鳥飼市	63
6	淀市	41
7	新三島市	41
8	千里市	38
9	北摂市	34
10	北大阪市	31
11	大淀市	21
12	三島野市	20
13	三島市	14
14	美島市	14
15	大三島市	13

応募案は市名審議会で選定し、審議会の答申による市名を、町長が町議会へ提案し、決定する方法が採られました。（つまり、公募の結果そのままを市名に採用することではないということです。）

審議会での答申案では「三島野市」となっていたのですが、陳情書や反対請願書が提出されたことにより、町議会で「北大阪市」「摂津市」が選出され、最終的に「摂津市」となりました。このようにして市名が決まったようです。

私たちの街、摂津市もひょっとしたら違う市名になっていたかもしれませんね。

（資料：摂津市史）